

項目	課題	目標時期	取組機関 (●:実施済み(完了) ▲:着手済み[引き続き実施含む] ○:実施予定 ■:平成29年フォローアップに係る時点更新箇所)																		
			関東地方整備局	内閣府	水資源機構	気象庁	東京都	千代田区	中央区	港区	文京区	台東区	墨田区	江東区	北区	荒川区	板橋区	足立区	葛飾区	江戸川区	
			内容																		
1) 洪水を河川内で安全に流すための取組																					
■洪水を河川内で安全に流す対策																					
	優先的に実施する堤防整備(橋梁部周辺対策)	U	平成31年度	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	堤防整備	T	引き続き実施	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	橋梁対策等の実施	U	引き続き実施	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2) 大規模氾濫に対する被害軽減のための取組 ①命を守るための迅速かつ確かな避難行動のための取組																					
■基盤整備																					
	円滑かつ迅速な避難に資する施設(避難先、防災行政無線等)を整備	E	平成28年度から実施	-	-	-	-	-	○	▲	○	○	○	▲	▲	○	▲	●	○	▲	▲
	簡易水位計や量水標等の設置	K	平成28年度から実施	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	長期的な水位予測が可能なシステムの整備	BCD	平成28年度から実施	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	浸水時の災害対応継続のための対策(庁舎の耐水対策等)を実施	Q	平成28年度から実施	-	-	-	-	-	●	○	○	○	○	●	●	●	-	●	●	○	▲
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																					
	想定最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表	L	実施済み	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	想定最大規模の降雨を対象とした氾濫シミュレーションの公表	L	平成28年度	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	浸水特性を考慮した避難計画の策定	DEHJ	平成28年度から順次実施	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	▲	▲	○	▲	○	○	▲	▲
	広域避難計画等を反映した洪水ハザードマップの策定・周知	AE	平成28年度から順次実施	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○
	日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとハザードマップの整備	EF	平成28年度から順次実施	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	●	○
	要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の実施	PQ	平成28年度から実施	○	-	-	-	-	○	▲	●	○	○	▲	▲	●	▲	○	○	▲	○
	広域避難を踏まえた避難勧告等の発令基準の見直し	BCD	平成28年度から実施	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	▲	▲	○	○	○	○	▲	▲
■タイムラインの策定、運用																					
	荒川下流タイムラインの策定・運用	BCD	平成28年度から実施	▲	○	▲	▲	▲	○	○	○	○	○	▲	▲	○	▲	○	○	▲	▲
	実践的な訓練の実施	B	平成28年度から実施	○	○	▲	○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○
	気象情報の改善(水害時の情報の入手のしやすさをサポート)を実施	F	平成29年度から実施	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
■防災教育や防災知識の普及																					
	水害時の事前準備に関する問合せ窓口の設置	F	平成28年度から実施	●	-	-	●	-	●	▲	●	○	○	▲	●	●	○	●	●	●	●
	小中学校における水災害教育の実施	F	平成28年度から実施	○	-	▲	▲	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	▲	▲
	教員を対象とした講習会の実施	F	平成28年度から順次実施	○	-	▲	▲	-	○	○	○	○	-	▲	▲	○	○	-	○	○	▲
	出前講座等を活用した講習会の実施	F	平成28年度から実施	○	-	▲	▲	-	●	○	○	○	○	▲	▲	●	●	○	○	▲	▲
	効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料作成の実施	F	平成28年度から実施	○	○	▲	▲	▲	○	▲	○	○	○	▲	▲	○	●	○	○	○	▲
	区民等に向けた河川情報の発信の工夫・改善、区民向け周知	FG	平成28年度から順次実施	○	○	▲	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	▲	▲
	《再掲》気象情報の改善(水害時の情報の入手のしやすさをサポート)を実施	F	平成29年度から実施	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	風水害の体験型訓練の実施	F	平成28年度から実施	○	-	▲	-	○	○	▲	-	-	○	○	▲	-	▲	○	○	○	-
	職員の出水時の知識・経験の継承	F	平成28年度から実施	○	○	-	-	-	▲	▲	-	-	○	-	▲	-	●	○	○	▲	▲
■垂直避難者の発生を踏まえた被害軽減の対策																					
	垂直避難のリスク周知や広域避難の必要性の啓発に向けた取組の実施	F	平成28年度から実施	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	▲	○	●	-	○	▲	▲
	垂直避難者の被害の軽減に向けた対策を実施	D	平成28年度から実施	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	▲	-	▲	-	○	▲	▲
2) 大規模氾濫に対する被害軽減のための取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための取組																					
■危機管理型ハード対策																					
	堤防天端保護の実施	V	平成31年度	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
■既設ダムの危機管理型運用方法の確立																					
	既存ダムの機能を最大限活用する運用方法の検討等	S	平成28年度から実施	○	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
■効果的な水防活動を行うための水防体制強化																					
	消防機関等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	M	引き続き実施	▲	-	-	-	-	○	▲	○	○	○	○	▲	○	▲	○	○	○	▲
	毎年、水害リスクの高い箇所共同点検を実施	M	引き続き実施	▲	-	-	○	○	-	-	-	-	-	▲	▲	○	-	○	○	▲	▲
	毎年、関係機関が連携した実働水防訓練を実施	N	引き続き実施	▲	-	-	○	▲	●	▲	○	○	○	▲	▲	○	●	○	○	▲	▲
	水防活動の担い手となる消防団や水防協力団体の募集・指定促進	O	引き続き実施	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	○	●	-	○	-	▲
	迅速な水防活動を支援するため新技術を活用した水防資機材等の配備	O	平成28年度から実施	▲	-	-	-	-	○	○	○	-	-	▲	▲	○	○	○	○	-	-
	排水施設の耐水化を実施	R	平成29年度から実施	▲	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2) 大規模氾濫に対する被害軽減のための取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組																					
■施設の耐水化																					
	《再掲》排水施設の耐水化を実施	R	平成29年度から実施	▲	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	《再掲》浸水時の災害対応継続のための対策(庁舎の耐水対策等)を実施	Q	平成28年度から実施	-	-	-	-	-	●	○	○	○	○	●	●	●	-	●	●	○	▲
■排水計画作成及び訓練の実施																					
	氾濫水を迅速に排水するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	R	平成28年度から実施	▲	○	▲	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練の実施	R	平成28年度から実施	▲	○	▲	-	○	○	○	-	-	○	▲	-	-	-	-	-	-	▲